

はじめに

本冊子は、デジタル化や少子高齢化の進む現代社会において、消費者が生活していくために、暮らしをより良くしていくためのヒントとなる知恵を集めたものです。この冊子を作成するために集まったNACS西日本支部の自主研究会のメンバーは、とりわけ「持続可能な社会」をめざしての問題意識を共有して、互いに、学びあった成果を集めています。

本冊子では、ネット社会を意識して、インターネットの使い方、デジタル生活の見直し、スマホ決済などに始まり、成年年齢引き下げに向けた注意や、高齢期の住まいの問題、さらに食品ロスや地産地消の勧め、プラスチックごみの削減など、今日的な問題について簡潔な解説を試みています。

また、それぞれの解説の中では、さらに立ち入った情報を入手するための手がかりも提供しておりますので、もっと知りたいと関心を抱かれた方は、そうした情報も役に立つのではないかと思います。

SDGsというのは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略語として、国連が定めた 17 の目標 (1. 貧困をなくそう、2. 飢餓をゼロに、3. すべての人に健康と福祉を、4. 質の高い教育をみんなに、5. ジェンダー平等を実現しよう、6. 安全な水とトイレを世界中に、7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに、8. 働きがいも経済成長も、9. 産業と技術革新の基盤をつくろう、10. 人や国の不平等をなくそう、11. 住み続けられるまちづくりを、12. つくる責任 つかう責任、13. 気候変動に具体的な対策を、14. 海の豊かさを守ろう、15. 陸の豊かさも守ろう、16. 平和と公正をすべての人に、17. パートナリーシップで目標を達成しよう) を掲げています。カラー・パレットのようなバッジを御覧になった方も多いかと思います (消費者庁の「188 (いややん)」バッジも負けてはおれません)。ただ、具体的な内容となると、きちんと理解するのはかなり難しいものです。

コロナ禍で大変な時期が続いていますが、これからの社会で、私たちが次の世代へ引き継いでいける環境に思いをはせていただき、互いに力を合わせていければと思います。

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 会長
東京大学 名誉教授
東北大学 名誉教授
河上 正二